



市民のみなさんへ

平成25年度は、まちづくりの指針である「第2次21世紀矢板市総合計画」が3年目を迎えます。市民力の向上や教育の尊重、暮らしの安心などを総合計画の重点計画に掲げ、そのための政策や事業を着実に推進し、市勢の持続的な発展を目指しています。また、子育て環境日本一を目指し、子育て支援充実のための各種施策を実施するとともに、「矢板市まちづくり基本条例」を定め、市民主体、市民協働のまちづくりを進めています。

日本経済の景気低迷が続く中、昨年度、矢板市では指定廃棄物最終処分場候補地問題やシャープ栃木工場規模縮小問題などの大きな出来事がありました。このような厳しい状況の中でも、市民の皆さんが将来に希望を持ち、安心して暮らしていけるように、さまざまな政策や事業を行っていきます。

さらに、地域の行政課題や新たな行財政需要にも的確に対応していくため、限られた財源を重点的・効率的に配分する方針で今年度の予算編成を行いました。

この予算特集号は、市の財政状況や予算がどのように使われているのかを分かりやすく表現することを心がけ作成しました。市の財政状況や事業を分かりやすくお知らせすることは、市民と行政が協働してまちづくりを進めていくためには大切なことだと考えたからです。市民の皆さんが、市の財政や事業を身近に感じ、少しでも興味を持っていただくきっかけとなれば幸いです。

矢板市長 遠藤 忠

もくじ

市民のみなさんへ・もくじ.....	1
基礎知識編.....	2-4
歳入編（一般会計予算）.....	5-6
歳出編（一般会計予算）.....	7-8
主な新規事業.....	9-10
子育て環境日本一を目指して.....	11-12
第1章 いつまでも健康でいきいきしているまちづくり.....	13-16
第2章 一人ひとりの笑顔が輝くまちづくり.....	17-19
第3章 豊かな自然を大切にすまちづくり.....	20-21
第4章 安心・安全で快適に暮らせるまちづくり.....	22-24
第5章 活力と活気にあふれるまちづくり.....	25-27
第6章 市民と行政が一体になったまちづくり.....	28
第7章 行財政基盤の安定したまちづくり.....	29
財政の健全化.....	30